


地域密着型サービス評価の自己評価票

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

↓ 取り組んでいきたい項目

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>理念に基づく運営</b>				
1. 理念と共有				
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の方々と普通にお付き合いが出来る様に まだ試行錯誤中		
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員が基本理念の笑顔のある 安心 安全 安楽を日々のミーティングで話し合い日常的に意識し業務を行っている		
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	近所の人々や地域の方々との挨拶が交わされる様になりつつあり 草取りにも参加し 掲示板で行事の参加を呼びかけている		地域の方々にグループホームの理解を広めていく為に今年目標として挨拶と草取りの参加 掲示板を活用し行事の参加をよびかけすまいるの内容をアピールしている
2. 地域との支えあい				
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	挨拶を交わしたり 草取りに参加したり 今年区長さんが敬老の日にお花を届に来て下さり 徐々に付き合いができてきた 見学にも今年になって地域の複数の方が来られた		
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	昨年から始まった地域のお祭りに今年は入居者の描いた絵を出品したり地域の方々の出される夜店でヨーヨーつりをしたりして交流に努めています		

グループホーム すまいる

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	定期的に映写会を実施し 地域の高齢者の方々にも 来て頂けるよう呼びかけている		すまいるの行事に参加していただける様に働きかけその中から役立つ事がないか検討していきたい
3.理念を実践するための制度の理解と活用				
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	今年は徐々にではあるが地域とのつながりをもちたいと職員一同年間目標を立てて取り組んでいる		外部評価の評価の低い地域との関わりを少しでも改善できる様に取り組んでいく
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議ではすまいるの行事その他の報告と市の出席者からお話を伺ったりで 向上に生かすところまではしていない		
9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり 市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	福津市の認知症啓発事業の中で すまいるの広報のパネルを展示する		
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	法人内の研修に市から講師として来られ すまいるの職員も参加 話し合いの時にも職員と話し合った。入居時成年後見制度について説明を行っている		
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	法人内外の研修に参加したり 話し合いをもっている		

グループホーム すまいる

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4.理念を実践するための体制				
12	契約に関する説明と納得 契約を結んだし解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解 納得を図っている	入居時充分に説明を行っているが 疑問等あればいつでも説明を行う旨伝えている		
13	運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	デイケアで習字をしていたのに楽しみがないとの不満があり法人の事務局長に手本を書いてもらって書道を始めた 縫い物をしたい入居者には針やハサミなどリスクがあるものはスタッフルームに預かり 縫い物は見守りするように等運営に反映させている		
14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	面会時 管理者や担当者から日々の暮らし振りや健康状態を伝え 又日々の記録を閲覧してもらい 家族会の時に職員の異動や金銭管理の報告 その他全般的な報告をしている		
15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族が気がかりな事や意見 希望を職員に気軽に伝えたり相談できる様に面会時声をかけ 連絡等積極的に行っている。		
16	運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	年 2回面談を行っておりできるだけ 発言できるようにしている		
17	柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう 必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	散歩等の時間をふやすため 朝の申し送り簡潔にして 少しでも時間をつくる等毎月 1度話し合いを設け意見を出し調整に努めている		散歩等の時間を増やすため職員の半日出勤をもうける調整を行う予定
18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	グループホームの理念を伝え適した人材を採用や異動している		

グループホーム すまいる

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5.人材の育成と支援			
19	<p>人権の尊重</p> <p>法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。また、事業所で働く職員についても、その能力を發揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している</p>	<p>職員の採用にあたってはグループホームの理念を伝え、適した資質を有する人材を採用又は法人内の配置転換を行っている。新人から経験者まで必要な研修の参加の機会を設けて、研修後は伝達講習を行っている。グループホームの様々な決定をする時は職員の意見を聞いている。</p>	
20	<p>人権教育・啓発活動</p> <p>法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる</p>	<p>併設の施設の研修や社会福祉協議会等の人権教育や啓発活動に参加し、すまいるでも話し合っている</p>	
21	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画を立て、法人内外の研修を受けられる機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>グループホームの新入職員の研修システムがある。又法人内の研修や外部の研修にも経験等に応じて参加の機会を設けている。研修後伝達講習も行っている。</p>	
22	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>社会福祉協議会等の研修に参加し、グループホーム協議会の全体集会やBグループの方々と相互訪問や見学し勉強会を行っている</p>	
23	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>法人の互助会の親睦会に参加したり、年2回の面談(個人面接)で話をしやすい雰囲気作りをしている</p>	
24	<p>向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるよう努めている</p>	<p>併設の施設のパソコン研修や、お花資格取得等に出席出来るように勤務を組んでいる</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
25	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり受けとめる努力をしている</p>	<p>入所相談時から本人の状態を家族や担当のケアマネジャーもしくは主治医からの情報を得て本人が困っていることや不安な状況を把握するように努めている</p>	<p>ご家族と本人と一緒に訪問されたりして 本人と信頼関係を築きたい</p>
26	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり受けとめる努力をしている</p>	<p>ご家族の見学や入居申し込みの時点から聞き取り 機会を設けて事前にすまいるに来ていただいて お互いに情報を集め 理解を深めている</p>	
27	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>ご家族の見学や入所相談の時点から聞き取り 機会を設けて事前にすまいるに来ていただいて お互いに情報を集め 理解を深めている</p>	
28	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく 職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>ご家族の生活に対する意向や ご本人がグループホームに移り住み 他の入居者や職員と共同で暮らしたい支えあっていくことが可能か すまいるの雰囲気に触れてみてサービス利用を考えてもらっている</p>	
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
29	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり 支えあう関係を築いている</p>	<p>職員はご本人の今迄の生活歴等をセンター方式等で知り注意深く様子を見ながら喜怒哀楽を共有できる信頼関係を築いている</p>	

グループホーム すまいる

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	家族会の行事の草取りやバーベキュー 秋のみかん狩り等の参加を呼びかけ 本人と一緒に支えていく関係を築いている		
31	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	ご家族の面会の際心身の状況や日々の暮らしを伝え 日々の記録も閲覧してもらい ホームだよりや 生き生きした場面の写真を掲示し お誕生日に一冊のアルバムにして渡している		
32	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう 支援に努めている	グループホームでご家族が楽しみに集まり お茶のみしたりしてゆっくり交流できる雰囲気作りをしている		
33	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	仲のよい入居者同士で ゆっくりお話ができるような場を設けたり 難聴の方々の会話の調整役になったりして支えあう様に努めている		
34	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	入院された方の様子を見に面会に行ったり ご家族とお会いしたときはお話を伺ったりしている		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>			
1.一人ひとりの把握			
35	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>日常生活の中で 出来る 出来ない されるか されないかの答えを引き出しご家族にも生活に対する意向を聴いて検討している</p>	
36	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>おやつや時間や日々の暮らしの会話の中からこれまでの色々の生活歴や暮らし方の情報を得て ご家族にも生活歴等を差し障りのない程度記入してもらっている</p>	
37	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>入居者が過ごされている位置を常に把握し 見守り危険な事がない様に対応し落ち着かない入居者にはさびげなく見守っている</p>	
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
38	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>本人やご家族の意向と本人の状態 職員の視点等を担当者会議やモニタリング等で話し合いケアに反映できる様にプランを立てている</p>	
39	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>入居者の状態が変化した時やご家族 本人の意向 モニタリングによって見直し 計画を変更している</p>	

グループホーム すまいる

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
40	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践 結果、気づきや工夫を個別記録に記入し 情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	健康チェック表や日々の記録に日中と夜間に分けて具体的に状況が把握できるように記録し職員全員が情報を共有しその事によって問題点は何かがわかって介護計画を見直している		
3.多機能性を活かした柔軟な支援				
41	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている			多機能性を生かしたなにができるか 検討する
4.本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
42	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化 教育機関等と協力しながら支援している	10月に消防署職員の方に心肺蘇生処置等の救命救急の講習をしていただく予定 ボランティアの方々に大正琴の演奏に来ていただいた。 民生委員さんには運営推進委員会に参加してもらっている。		ボランティアの方々にも少しアピールしてすまいるの行事に参加していただけるように働きかける
43	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	他のサービスの利用をする為の支援を計画していたが 本人が望まれず 実施していない		
44	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	現在該当者なし		
45	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医に月 1回受診し 入居者とご家族に担当者がついて行き健康状態を共有する事を 入所時説明して 実施している		



グループホーム すまいる

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
46	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	かかりつけ医に受診し認知症の日ごろの状況をご家族と一緒に相談し診断や治療を受けられるよう支援している		
47	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	看護師資格を有する職員1人と訪問看護師が毎週1日2時間位訪問し、入居者の健康管理やスタッフからの相談、アドバイスをやっている		
48	早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	職員が出来るだけお見舞いに顔を見せ安心感を持たせ主治医や看護師と情報交換し治療がスムーズに出来るようにしている。又ご家族とも退院に備えて話し合いをおこなっている		
49	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	ご家族と主治医との話し合いにより決定している。ご家族にも家族会等でターミナルについてはその都度話し合っている		
50	重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	現在該当者なし		ご家族と主治医の話し合いですまいるで、ターミナルをと言う事であれば職員一同その入居者にあった支援に備えて検討や準備を行う
51	住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	現在まで該当者なし		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>			
1.その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
52	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>居室の出入りやトイレの声かけ等 プライバシーを損ねない様に配慮している 記録にも他の入居者の個人名など個人情報に触れないように注意している</p>	
53	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけた。わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>センター方式を導入し本人やご家族からの又は職員の情報を集めて本人の思いや望みを理解し支援している</p>	
54	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>低血圧で午前中は余り動けないで臥床される方や早くから起床される方 台所の仕事を全部したい方など様々でその方の希望に添って支援している</p>	
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
55	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>季節や一日の気温差 本人の好み等 適切に対応している 外出時は羽織る物や靴下 帽子等に配慮している 理容美容はご家族に相談しご家族が連れていかれるか 出張の美容室かそれぞれ</p>	
56	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員が一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>野菜を皆で切ったり 味付けしたりつぎ分けしたり自分の出来る事をして ゆつくりと食事をして又皆でお茶碗を洗ったり 拭いたりされる 又誕生日には本人の好みの料理を作ったり 季節の行事の料理 おはぎ 恵方巻き おせち料理など皆でチエを出し合っている</p>	
57	<p>本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	<p>飲み物は熱い冷たい 甘いお菓子の好き嫌い コーヒーの好きな方には食後に等配慮している 現在までお酒やたばこの該当者は居られません</p>	

グループホーム すまいる

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
58	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	個別にトイレ誘導の声かけをしてさびげなく失禁をチェックし評価 排尿の時間や排尿排便の兆候をを把握 又プライドを傷つけない様に配慮している		
59	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴を毎日か隔日かは本人又はご家族の希望で入っています 入浴の順番は柔軟にその日その日で声かけして早くとか後でとか本人の希望を聴いて入浴の準備を一緒にしながらはいます		
60	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	低血圧のため午前中少し休まれる方も居られるが日中は殆どの方が家事をされたり洗濯たたみをされたりで起きて何かされて居られるため夜間はトイレ以外は大体眠られている		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
61	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	趣味の お花や 習字 色鉛筆でのお絵かき等 また裁縫の好きな方には針やはさみが危ないので見守りで縫い物を出る様に支援している またカーテン閉め等 役割をもってもらっている		
62	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	買い物に行く時 預かり金の中から小額のお金を財布に入れて持って行かれ 仏様にお供えするお菓子や好みのお菓子を買われるように支援している 金銭の使途報告は定期的に行っている		
63	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりの希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	その日の体調を考慮しながら希望を聞いて外出している		勤務体制を午前中職員の人数を増やし散歩等外出の機会を増やす
64	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり支援している	家族会の行事としてや本人やご家族の希望などを取り入れてその時々季節の花見等に出かけている		

グループホーム すまいる

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
65	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり手紙のやり取りができるように支援をしている	手紙やハガキがきて返事を書いてと言われたり 電話をしたいと言われた時は支援している		
66	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	訪問された時は本人と馴染みの方々が居心地よく過ごせる様にお茶やお菓子を出してゆっくり出来るような雰囲気づくりをしている 面会時間は設けずご家族の出入りは自由にしている 宿泊される事もある		
(4)安心と安全を支える支援				
67	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており 身体拘束をしないケアに取り組んでいる	H14年抑制廃止宣言をしている 言葉での禁止や指示の声かけをしない様に介護上の工夫をしている		
68	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており 鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室や玄関の鍵はかけないようにしている 門扉については鍵をかけている		門扉については検討中
69	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	全ての入居者の動きや状態を把握出来る様に様々な業務を行いながら居間や食堂でさりげなく見守りしている 夜間は定期的に訪室し入眠を確認しています		
70	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	洗剤や漂白剤は洗濯場の上のボックスの中に 包丁は箱に入れて高い棚に 入居者の裁縫箱はスタッフルームに預かり見守りで裁縫をしてもらっている		
71	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	転倒防止のため家具の位置を変えたり 薬は日付と名前と朝昼夕を書いて確認しながら服薬介助している 防災は定期的に消火訓練に参加 併設の施設の安全委員会や防災委員会に出席したり 研修に参加し取り組んでいる		

グループホーム すまいる

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	訪問看護師に話し合いに参加してもらい応急手当 心マッサージ等を指導してもらっている 夜間の看護師や医師への連絡や緊急時の連絡方法については電話の横にクリアブックを置いている		
73	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	避難訓練は年2回定期的に行っている 夜間にも訓練をしている 地域の特定の方に協力をお願いして了解をうけている		
74	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	個々の入居者の転倒や異食のリスクの説明をご家族に行いご家族の意向も伺いながら対応策を話あっている		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
75	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し対応に結び付けている	日常的に健康管理を行い 訪問看護師 主治医との連携 職員間の情報交換を密にとり 異変の早期発見 悪化防止に努めている		
76	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており 服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	ご家族から薬と説明書を一緒に預かり 薬の作用や副作用を把握 Drの指示どう服薬介助し 症状の変化がないか確認に努めている		
77	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し 予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	自然排便を促すため体操や家事仕事等身体を動かす機会を増やしおやつや入浴後水分を食事には繊維のある野菜や牛乳を多く摂られる様に工夫している 排便の確認がとくに入居者にはトイレ後すぐに聴き取るなどの工夫をしている		
78	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように 毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	3カ月に1回定期的に歯科受診し歯磨きの指導を受け 口腔ケアを行っている		

グループホーム すまいる

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
79	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通して確保できるよう一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	併設の施設の栄養士の献立を参考にして栄養のバランスを考えている 又水分確保のため朝は味噌汁 清し汁を昼夕につけて10時15時入浴後お茶やスポーツドリンクをお出しして 必要あれば食事量のチェックや水分摂取量のチェックをしている		
80	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり 実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	職員は出勤時手洗いとうがいを励行し入居者も食事前や家事の前に手洗いの声かけし液体アルコールで消毒している インフルエンザは10月予防注射 又 併設の施設の感染委員会に出席し感染の早期発見や早期の対応の指導や研修を受けている		
81	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	調理用具の消毒は定期的に 衛星チェック表にチェックし食材は新鮮で安全な食材の購入する為情報を集めて多方面から購入する様にしている		
2.その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
82	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関の外にベンチを置いている 外を歩かれる方に職員が挨拶をする様になりつつある		入居者も近隣の方々に挨拶が出来る様に工夫する
83	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	お庭やプランターに植えた花や野菜を廊下に椅子を置いて話をしながら眺められるようにしたり 台所には自由に出入りできる様にしている 食堂の天窓からの光が強い夏はテーブルを異動して涼しく過ごせる様にしている		
84	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りこなれたり 気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	仲のよい入居者同士で過ごせる様に椅子を異動して庭を眺めながらお話出来る様にしたり 一人で過ごしたい時は和室で静かにゆっくりくつろいでもらえる様にしている		

グループホーム すまいる

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
85	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるよう工夫をしている	昔からの習慣等を尊重し、仏様にお酒やおごくやお茶を供えるお手伝いをしたり、落ち着いて生活出来る様に支援している。ご家族が泊まりの希望があれば対応している		
86	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気の上よみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	掃除の際など換気を適宜行い、冷暖房を嫌う方々も居られるので、さびげなく休まれる前に暖めたり、冷やしたり室温調節している		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
87	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	入居者個々の状態に合わせて転倒防止の為、居室のベッドの位置を変えたり、本人が移動して活動できる様に車椅子を利用したりして安全に暮らせる様に支援している		
88	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	居室の表札がわかる様に目線の高さにしている。夜間トイレの場所を迷わない様にトイレの電気を一晩つけておく		
89	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり活動できるように活かしている	夏は塀に朝顔を這わせて入居者とご近所の方にも季節感を楽しんでもらっている		

.サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
項 目			
90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の	
		利用者の 2/3 くらいの	
		利用者の 1/3 くらいの	
		ほとんど掴んでいない	
91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある	
		数日に1回程度ある	
		たまにある	
		ほとんどない	
92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の 2/3 くらいが	
		利用者の 1/3 くらいが	
		ほとんどいない	
93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の 2/3 くらいが	
		利用者の 1/3 くらいが	
		ほとんどいない	
94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の 2/3 くらいが	
		利用者の 1/3 くらいが	
		ほとんどいない	
95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の 2/3 くらいが	
		利用者の 1/3 くらいが	
		ほとんどいない	
96	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の 2/3 くらいが	
		利用者の 1/3 くらいが	
		ほとんどいない	
97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と	
		家族の 2/3 くらいと	
		家族の 1/3 くらいと	
		ほとんどできていない	



グループホーム すまいる

項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。
98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように
		数日に1回程度
		たまに
		ほとんどない
99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている
		少しずつ増えている
		あまり増えていない
		全くない
100	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が
		職員の 2/3 くらいが
		職員の 1/3 くらいが
		ほとんどいない
101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が
		利用者の 2/3 くらいが
		利用者の 1/3 くらいが
		ほとんどいない
102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が
		家族等の 2/3 くらいが
		家族等の 1/3 くらいが
		ほとんどできていない

【時に力を入れている点・アピールしたい点】  
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

普通の家庭生活と同じように穏やかに一日が流れ 時には散歩や買い物をして お花見のシーズンや行楽シーズンにはご家族に声をかけたりし 地域のお祭りには 職員総出で出かけて行き 夜店で買い物したりと 大きく特別の事はしていないが 入居者の皆さんが満足し楽しいと感じていただける様に取り組んでいる